

アメニティの機関紙

アメニティの機関紙
第 1 号
2004年1月31日発行
日本生理人類学会
資格認定委員会

生理人類士機関紙「アメニティの機関紙」発刊にあたって

本年度より資格認定委員会委員長を務めさせていただいております武蔵野大学の橋本です。早いもので、日本生理人類学会が2000年度に「生理人類士」資格認定制度をスタートして第1回認定試験を実施してから、今年度第4回を迎えようとしております。ご存知のように、「生理人類士」資格には、アメニティプランナー（1級）、アメニティコーディネーター（準1級）、アメニティスペシャリスト（2級）という3つの資格がありますが、資格取得者数は現段階で既に1級12名、準1級26名、2級244名の総勢282名にのぼり、年々資格取得者の数も増加しております。生理人類学の進展と社会貢献を目指した人材を育成するための資格制度としてまずは順調なスタートであったと思います。しかしながら、資格取得者の数が増加することは、資格に対する社会的な認知と共に期待も大きくなることを意味します。社会的な責務と共に資格の質と内容がますます問われることになり、また、公的資格としての公開性も一段と求められることとなります。量の増大は質の転換をせずにはおかないという弁証法的な意味においても、「生理人類士」資格認定制度はいよいよ正念場を迎えたというのが私の実感です。資格取得というのはほんの入り口であって、資格制度の成否はひとえに資格を取得された方々が今後社会においてどれだけ活躍されるかということにかかっているといえましょう。そのためには、より充実した資格制度にする必要があります。現在その方策について検討を進めているところですが、第一に、資格取得者をさらに増やして、名実ともに充実した資格制度にするための取り組みを強めることが重要であります。第二に、生理人類学は日々進展しておりますので、資格取得者への今後のフォローや生理人類士相互の情報交換が必要であると思われまます。

そこでその一歩として、既に取得された方々の情報交換の場として、また、これから取得することを計画されている方々のための広報を兼ね、生理人類士の機関紙として「アメニティの機関紙」を発刊することとしました。当面は年一回の発行を計画しておりますが、今後紙面の充実を図り、上記目的に従った自由な情報交換の場へと成長してゆけば幸いです。学会員の皆様のご協力・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2003年11月

資格認定委員会委員長 橋本 修左

「生理人類士」取得者

		2000	2001	2002	計
1級	アメニティプランナー	6	3	3	12
準1級	アメニティコーディネーター	5	5	16	26
2級	アメニティスペシャリスト	24	86	134	244
総計		35	94	153	282

2000年

- 1級 杉山康司 前田亜紀子 三輪恵美子 細田彰一 都築均 御手洗幸子
 準1級 芦野理恵 柴崎寛子 吉富加伸子 中山真弓 岩城都子
 2級 福島理香 渡沼久美子 竹内愛子 坂本由起恵 小林祥子 平田由布子 土澤めぐみ 大淵美郁 近藤朋美 山口史 星山佳代 新井夕紀子 山崎華代 渡辺奈央 鈴木恭子 長島真由美 丸山恵 加賀屋志穂 宮崎麻衣子 深川陽子 松崎薫 水口紀子 松本賀都子 小林春香

2001年

- 1級 前田享史 棚橋ひとみ 西村千尋
 準1級 田尻美千子 後藤郁子 秋元佐月 小野裕子 野口普子
 2級 朝倉恵理 荒木那方 石塚結喜 井砂由香子 伊藤紀子 川西麻依子 小林志保 小山明希子 染谷有香 松永由美 松本陽子 山本都希 佐竹裕子 古閑鮎子 小島彩 七田洋子 千田純華 高尾美佐 刀根由里香 寺崎里美 本多美緒 山内貴和子 川原凡子 黒岩亜紀子 郡司和美 須子絵美子 鶴田美穂 寺尾ゆかり 早野亜希 平井優美 松岡有紀 馬場迫央子 坂井奈都子 立畝三沙 永吉加奈 二子石悦子 畠中麻三子 松永美香 足立真希子 宮村ひとみ 森周子 上田奈央子 野口富美子 松熊麻美 向井円 稲田聖子 島田祐美 須賀るり子 本田蛍 木田裕美 森さなえ 諸隈千佳 山口昌子 山本久美 岩本桂子 蔵元あゆみ 兒玉理恵 下田昭子 居石一也 田村奈保子 友枝美知子 中富愛弓 村島涼子 森岡亮 小笠原加奈 川井えりか 澤崎玲奈 岡田茜 田辺ともみ 立川公子 遠藤敦子 宇佐美晶子 小根山幸恵 田中詠子 保坂好美 江口温美 小原加奈 衣袋かほり 武田典子 和多利佳奈 吉村真由美 上出佳子 深山真由美 森田真理 安堵美花子 橋本幸香

2002年

- 1級 宮本博幸 石橋圭太 恒次祐子
 準1級 山本美子 脇坂佳子 五十子理恵 千藤寿恵 佐藤亜矢 加藤尚子 高尾美佐 永吉加奈 松永美香 島田祐美 小笠原加奈 本田裕美 山本久美 索英海 朴美卿 綱分美帆
 2級 網代祐美 坂井嘉恵 田邊章 堀井郁 石橋美奈子 今井絢子 寺島真弓 小庄司香葉 今度潤子 福原香織 石津侑子 山本優美 厚佳恵 石井里奈 石山恭代 大谷規久恵 岡本明子 尾原彩子 渡辺由美 加藤史帆 高木千誉 立江陽子 徳竹詩織 井内有紀 粕谷夏穂子 大串明菜 斎藤孝枝 渡辺美果 市川麻耶 川村由佳 千葉香 土屋江理子 今史恵 荒川由美 飯田祐子 石川英実 白井梓 内田麻以 大野明子 粕谷齊子 川村衣理湖 功刀路乃 小島奈月 小林咲子 小堀朋意 早乙女裕美 阪本絵美 笹本有里 佐藤奈津子 佐藤庸子 佐藤莉奈 須賀田真美 大小原舞 玉井里奈 常盤佳代 長尾亜矢子 長尾佳苗 中代裕美 花形尚子 福島祐子 丸山千鶴 柳川絵里 山崎温子 吉留ゆかり 穂吉博子 阿比留めぐみ 荒巻美穂 有馬直美 石田愛美 磯野亜樹 稲敷千絵 井上愛美 井上かほる 井上久美子 尾石桂子 大久保飛鳥 岡田彩 奥野七恵 小田原知美 小畑暢子 小山田知佳 甲斐明子 貝通丸桂子 角田知子 北川さとみ 北村晃子 吉良悠子 上妻裕子 郷田和代 古賀智子 後藤綾子 坂本彩 佐々木志保 柴田由紀 白石明子 新内沙織 高城文子 田栗広子 永野美佳 中村由実 新原祥子 西山英里 野相智美 野崎知子 袴田麻衣 長谷部真弓 服部由香 檜垣知佳 廣瀬仁美 藤田千香子 藤野晶子 藤本志保 藤原昌子 平間亜矢子 堀江美代子 宮崎由加 宮原千穂 向文子 森理絵 八尋真紀子 山浦樹理 山口裕貴 山口真由 吉村千論 和田あけみ 渡辺香奈 久川佐紀子 佐仲直子 川崎南 黒田裕美 木屋春菜 竹内彩 西岡昌美 佛淵あゆみ

投稿記事大募集！

生理人類士を取得された皆様へお願い

生理人類士を取得し、その後どういう仕事を行っていますか？生理人類士として、社会で活躍されている方の経験談や、生理人類士の資格をどのように生かしているかについてなどを、「アメニティの機関紙」への投稿を大募集いたします。下記事務局宛まで投稿原稿をE-mailで送っていただくか、FDにテキスト形式で入力したものを郵送してください。

今後、このアメニティの機関紙を生理人類士同士の情報交換の場として御活用いただければ幸いです。

＜生理人類士認定委員会事務局および問い合わせ先＞

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 (株)国際文献印刷社内

TEL: 03-5389-6218 FAX: 03-3368-2822 jsipa-post@bunken.co.jp

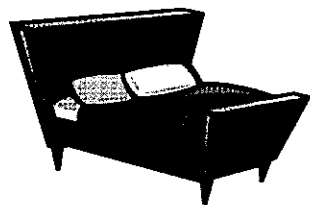
生理人類士の声

今回は、生理人類士1級(アメニティプランナー)取得者の方から記事をいただきました。

2000年生理人類士1級 三輪恵美子さん(西川産業(株)日本睡眠科学研究所)

「生理人類士1級(アメニティプランナー)を取得して」
当社には、生理人類士2級(アメニティスペシャリスト)が7名おります。会社もこの資格を理解し、資格取得者には快適性が求められた寝具・寝装品の開発に携わるポジションが与えられており、新商品の開発が期待されています。私は、「資格」の営業担当部長を自負し、執筆・講演・取材等ことあるごとに生理人類士1級(アメニティプランナー)を連呼しています。

また、実践女子大学・「人間生態学演習」の授業の中でも資格取得を勧奨しております。今後は、大学や社会で生理人類士の資格が認知され、多くの方々が活用されることを望みます。



2000年生理人類士1級 杉山康司さん(静岡大学教育学部生涯スポーツ教室)

「生理人類士1級(アメニティプランナー)を取得して」
私は所属する大学において一般教養科目の基本体育学を教授しています。授業内容は体育の実技指導の他、「健康と運動・栄養」をテーマにした健康・スポーツ科学的立場からの講義や実験的演習です。この授業で学生達が決まって驚くのは体育教師がこのような健康に関する生理学的研究を行っていることでした。一般的に体育教師といえ



ば競技スポーツの指導者というイメージがあり、健康に関しては医学の分野と見られてしまっているからでしょう。私が、この資格を取得したいと思ったのは体育分野には生理人類学的分野に含めることができる研究があり、スポーツ・運動を深く理解した体育の分野だからこそ社会貢献できる研究があると思ったからです。また、この資格が一般の方々に人の健康は医学の分野だけではないことを説明できるきっかけになればと願っています。現在、学外共同研究で浴室デザインに関する研究を進めています。

2001年 西村千

「生理人類士」
現在、私を中心として、ウォーキング(walking)を促す環境づくりの場から、環境づくりのような環境の計画をしています。

2002年 宮本浩

「私と生理人類士」
私と生理人類士は、当時は求められなかった。2000年、それが間に計測。もともと、もの、んのご

2002年 恒次和

「生理人類士」
私は森から木会った考え方応用のて様々というを研究

2001年生理人類士1級

西村千尋さん（長崎県立大学）

「生理人類士とまちづくり」

現在、私は地域の健康づくりに携わっており、特にウォーキングを中心とした運動指導を行っています。最近では、歩行者環境(walkability)に関心を持っており、これからのまちづくりにおいて、高齢者や障害者への配慮とともに、歩くことによる健康づくりの場を確保するための配慮も必要であると考えています。さらに、ウォーキングの継続性をもたらすためには、歩道周辺の環境づくり(アメニティ)にも配慮する必要があるでしょう。このような「歩きたくなるまちづくり」「歩くのが楽しいまちづくり」を進めていく上で、地域環境の調査・分析・評価・提言において、生理人類士の資格は有効に活用できるものと考えています。



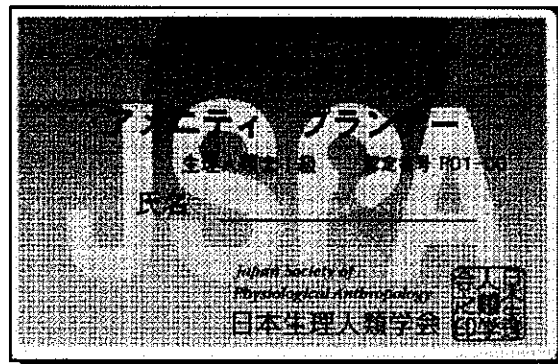
2002年生理人類士1級

宮本浩幸さん（松下エコシステムズ(株)）

「私と生理人類学、そして資格取得」

私と生理人類学とのつき合いは、1990年松下電器産業の研究所への社内留学から始まる。当時はバブル全盛期で、アメニティが流行語にもなり、室内環境、特に温熱環境の快適性追求のため、従来の環境計測から人間計測へ、と計測対象が変わり、まず実験室の建設から着手。2人で約1億5千万の実験室を立ち上げた。

それから13年。会社生活の半分以上関った人間計測。その集大成?として年甲斐もなく、ダメモトで受験した生理人類士1級。運良く合格したものの、資格の活用方法は今後の課題。若い皆さんのご活躍、期待しています。



2002年生理人類士1級

恒次祐子さん（独立行政法人森林総合研究所）

「生理人類学と自然材料の快適性研究」

私は森林総合研究所で木質居住環境の快適性に関する研究を行っています。大学の中から木材の研究を続けてきていますが、現在のテーマに取り組み始めて生理人類学に出会ったことにより、木材のような自然由来の材料と人間との関係について、自分の中で考え方の基盤や目指す方向性が見えてきたような気がしています。私たちは自然環境対応の体を持って現代の高度に人工化した環境に暮らしており、体と環境のズレによって様々な問題が引き起こされていると思います。今後も生理人類学を背景として、木材という自然からの恵みをどのように利用することが健康で快適な暮らしにつながるのかを研究していきたいと思っています。